

シンポジウム開催のご案内  
**国家建設へのチャレンジ in Asia**  
- 開発協力における日独の国際的責任および役割 -

国家建設、「国造り」。どの国も、試行錯誤しながら長い時間をかけて国造りを行ってきました。今、政治的に安定して経済成長も順調な国もあれば、生活がテロに脅かされ、貧困にあえぐ不安定な国もあります。日本とドイツは、第二次世界大戦から奇跡的な復興を成し遂げました。そしてアジア、ヨーロッパの経済大国となり、途上国に対して、自らの経験と強みを生かして国際貢献を行っています。

現在、我々の回りには、金融危機や感染症、気候変動、テロなど、国境を越えた様々な課題が存在しており、その影響は世界を瞬時に駆け巡ります。人と人、国と国との結びつきが深まる中で、国際社会が一丸となってこうした危機(リスク)に立ち向かって行くことは、世界の人々が安心して暮らせる社会、「人間の安全保障」の実現にとって一層重要になっています。

奇しくも総選挙直後の日本とドイツ。同様に大統領選挙直後のアフガニスタンを含めた流動的な国際社会の中で、今後、両国はどのような国際貢献、開発協力を行っていくべきでしょうか？

本シンポジウムでは、国家建設に焦点を当てて、アジアにおける国造りのプロセスや国際社会のあり方を議論したいと思います。具体的には、国家建設の昨今の議論と実践の変遷をレビューした上で、実例としてインドネシアとカンボジアにおける国家建設の経験と、日独の援助のアプローチについて検証します。そして大統領選挙直後で状況が流動的なアフガニスタンにおける国造りの現状、課題、日独の支援の方向性などを議論したいと思います。国造りの多様性を前提としつつも、本シンポジウムを通じて、日本とドイツ両国をはじめとする国際社会による国造りへの貢献、開発協力のあり方などについて今後の方向性が見出されることを願っています。

本シンポジウムは、新政権が誕生したばかりの日独両国の国会議員(注)の参加も得ながら、政府関係者、援助実務者、ジャーナリストなど、様々な分野において活躍される専門家をお招きし、今後の効果的な支援と日独の開発協力の発展に向けた示唆を得ようとするものです。

■日時： 2009年11月7日(土) 午前9時30分～午後5時45分(予定) (午前9時開場・受付開始)

■会場： JICA 研究所 国際会議場(東京都新宿区市谷本村町 10-5)

\* 会場へのアクセス 地図 <http://jica-ri.jica.go.jp/ja/about/access.html>

最寄り駅 JR 中央線・総武線「市ヶ谷」 徒歩 10分

都営地下鉄新宿線「市ヶ谷」A1 番出口 徒歩 10分

東京メトロ有楽町線・南北線「市ヶ谷」6 番出口 徒歩 10分

■主催：ベルリン日独センター／コンラート・アデナウアー財団／国際協力機構

(後援：日本国外務省、ドイツ外務省／駐日ドイツ大使館、ドイツ経済協力開発省)

■プログラム 別紙参照

■使用言語：日本語、英語、ドイツ語(同時通訳付き)

■参加申込：参加無料。定員 150 名

■本シンポジウムに関するお問い合わせ：

国際協力機構 企画部国際援助協調課 電話：03-5226-9110 / E-mail: [jicapvd-ap@jica.go.jp](mailto:jicapvd-ap@jica.go.jp)

## プログラム

### 国際シンポジウム

#### 国家建設へのチャレンジ in Asia

— 開発協力における日独の国際的責任および役割 —

2009年11月7日(土)、於: 東京

会場: JICA 研究所 (東京都新宿区市谷本村町 10-5)

言語: 日本語、英語、ドイツ語 (同時通訳付き)

後援: 日本国外務省、ドイツ外務省 / 駐日ドイツ大使館、ドイツ経済協力開発省

09:00 受付開始

09:30 開会挨拶

- 佐渡島志郎(国際協力機構理事)(司会)
- フォルカー・スタンツェル(次期駐日ドイツ大使)
- フレデリーケ・ボッセ(ベルリン日独センター事務総長)

09:45 -11:45 第一セッション: 「国家建設」に対するドイツ及び日本の役割

議長: ステファン・フリードリヒ(コンラート・アデナウアー財団アジア局長)

09:45 基調講演

- 緒方貞子(国際協力機構理事長)(討論にも参加)

10:00 発表(10分×3名)

- 西村智奈美(日本国外務大臣政務官)
- バージット・シュナイバー・ジャストラム(欧州連合議会議員、同開発委員会委員)
- アリ・アフマド・ジャラリ(近東・南アジア戦略研究所名誉教授、元アフガニスタン内務大臣)

コメント(5分×3名):

- 脇阪紀行(朝日新聞社論説委員)
- マティアス・ナス(ディー・ツァイト紙副編集長、ベルリン日独センター副総裁)
- ヘンリッヒ・クレフト(ドイツ連邦議会キリスト教民主・社会同盟グループ外交政策シニアアドバイザー)

討論(スピーカー間→オープン)

11:45-13:15 昼食

13:15 -15:00 **第二セッション：日独による対東南アジア協力**  
議長：サラ・クリフ(世界銀行 世界開発報告書 2011(紛争・脆弱国)特別代表)

13:30 **発表**(15分×4名)  
➤ 恒川恵市(国際協力機構理事)  
➤ ヴォルフガング・シュミット(ドイツ技術協力公社理事)  
➤ チャン・プラシット(カンボジア商業大臣)  
➤ ユスフ・ワナンディ(インドネシア戦略国際問題研究所財団副理事長)

**討論**(スピーカー間→オープン)

15:00 休憩(2F ロビー)

15:15 -17:15 **第三セッション：日独による対アフガニスタン協力**  
議長：加藤宏(国際協力機構研究所副所長)

15:15 **発表**(15分×4名)  
➤ ウェ・オールズ(ドイツ復興金融公庫開発銀行アジア担当上級副総裁)  
➤ 香川剛廣(外務省中東アフリカ局参事官)  
➤ 中原正孝(国際協力機構南アジア部長)  
➤ アレスター・マッケクニー(世界銀行 脆弱・紛争影響国局長)

**コメント**(5分×2名):

- マーティン・キッピング(ドイツ経済協力開発省アフガニスタン政治専門家)
- アリ・アフマド・ジャラリ(近東・南アジア戦略研究所名誉教授、元アフガニスタン内務大臣)

**討論** (スピーカー間→オープン)

---

17:20 **総括コメント**  
➤ 恒川恵市(国際協力機構理事)  
➤ コリン・デュルコプ(コンラート・アデナウアー財団日本・韓国事務所代表)

17:45 閉会

佐渡島 志郎 国際協力機構理事（司会）

Mr. Shiro SADOSHIMA Vice-President, JICA



昭和 28 年福岡県生まれ。昭和 52 年東京大学法学部卒業、同年外務省入省。平成 3 年在アメリカ日本大使館参事官。同 6 年在ベトナム日本大使館参事官。同 8 年経済協力局有償資金協力課長。同 10 年アジア局中国課長。同 12 年在オーストラリア日本大使館公使。同 14 年在香港日本国総領事館領事。同 16 年大臣官房参事官兼経済協力局。同年兼大臣官房国際社会協力部。18 年兼アジア太平洋州局。同年免兼経済協力局、大臣官房国際社会協力部。同年大臣官房審議官兼アジア太平洋州局、兼アジア太平洋州南部アジア部。平成 19 年独立行政法人国際協力機構総務部長を経て、同 21 年 7 月より現職。

Education: In March 1977, B.A. in Faculty of Law, The University of Tokyo. Professional Career: In 1977, Joined the Ministry of Foreign Affairs, in 1991 Counselor, Embassy of Japan in USA, in 1994 Councilor, Embassy of Japan in Vietnam, in 1996 Director, Loan Aid Division, Economic Cooperation Bureau, in 1998 Director, China and Mongolia Division, Asian Affairs Bureau, in 2000 Minister, Embassy of Japan in Australia, in 2002 Consul, Consulate-General of Japan in Hong Kong, in 2004 Deputy Director-General, Minister's Secretariat, Economic Cooperation Bureau and Multilateral Cooperation Dep., in 2006 Deputy Director-General, Minister's Secretariat and Asian and Oceanian Affairs Bureau, in 2007 Director General, General Affairs Dep., JICA, in July 2009 Vice-President, JICA.

ヴォルカー・シュタンツェル 次期駐日ドイツ大使

Dr. Volker STANZEL Ambassador designated of the Federal Republic of Germany to Japan



フランクフルト大学にて日本学、中国学、政治学を専攻。1972年～1975年京都大学に留学。1980年ケルン大学にて哲学博士号取得。1979年外務省入省。1995年～1998年社会民主党（SPD）ドイツ連邦議会会派外交担当。1998年～1999年ジャーマン・マーシャル・ファンド（GMF 本部ワシントン）フェロー。1999年～2001年：本省原子力平和利用・不拡散政策担当課長。2001年～2002年本省政務局長代理（アジア政策担当）。2002年～2004年本省政務局長（アジア・アフリカ・中南米担当）。2004年～2007年駐中国大使。2007年～2009年本省政務総局長。2009年10月～駐日ドイツ連邦共和国大使。

Volker Stanzel has been Ambassador-designate of the Federal Republic of Germany to Japan since October 2009. He took Japanese and Chinese Studies and Political Science at the universities in Frankfurt, Kyoto and Cologne and received his PhD from Cologne University. Dr. Stanzel joined the Foreign Service of the Federal Republic of Germany in 1979 and has worked at the German Embassies in Rome, Tokyo, Aden and Peking. From 1995 to 1998 Dr. Stanzel was Foreign Policy Advisor to the Social Democratic Party of Germany in the German Bundestag, 1998/1999 Visiting Fellow of the German Marshall Fund of the United States in Washington. From August 2001 until June 2002 he was Director for Asian & Pacific Affairs. From July 2002 until July 2004 he was Director-General for Political Affairs. In September 2004, he assumed his position of German Ambassador to China. In August 2007 he became Political Director.

フレデリケ・ボッセ ベルリン日独センター事務総長

Dr. Friederike BOSSE Secretary General, JDZB



1988 年～1991 年船井電機株式会社ハンブルグ支社、支社長補佐。1991 年～1993 年ドイツ公共放送（ARD）東京支局勤務。1993 年～2001 年ハンブルク・アジア問題研究所、日本経済担当研究員。2001 年～2006 年ドイツ産業連盟（BDI）国際市場部日本担当。2006 年8月よりベルリン日独センター事務総長。

学歴

1981 年～1987 年ハンブルク大学にて日本学を専攻（副専攻：経営学、独文学）。1987 年修士号取得。2001 年博士号取得。

Since August 06: Secretary General of the Japanese-German Center Berlin

2001 –2006: Director Regional Coordination at the Federation of German Industries (BDI), Berlin, responsible for Japan and Trade Promotion Policy

1993 – 2001: Research Fellow for Japanese Economy at the Institute of Asian Studies (today part of the Institute of Global an Area Studies [GIGA]), Hamburg

1991 – 1993: Office Manager, ARD German TV, Tokyo

1988 – 1991: Assistant to the Management, Funai Electric Trading GmbH, Hamburg

Education:

2001: PhD on Japanese Studies, University of Hamburg

1987: M.A., Japanese Studies, University of Hamburg

1981 – 1987: Japanese Studies, Business Management and German Studies at the University of Hamburg



**Dr. Stefan FRIEDRICH** Director, Asia Department, KAS



ヘイデルバーグ大学で近代中国研究と政治学を専攻。1994年修士号、1999年博士号取得。上海(復旦大学)、パリ(フランス国立社会科学高等研究院)、ロンドン(ロンドン大学・アフリカ研究所)で研究。1997～2001年 ハンブルグ、アジア関連の機関で科学分野を担当。近代中国の百科事典の編集。“Das Große China-Lexikon”約1000ページ、2003年出版、2009年に英語版も出版された。ブリル中国事典)。その他、中国の国際関係に関する書籍を幅広く執筆。2001～2005年KASの上海支社を設立し、局長に就任。2005年ベルリン、コンラート・アデナウアー財団のアジア局長に就任。KASはキリスト教民主運動に深く関連した政治基盤で、フリードリヒ氏は、18支所、年間1000万ユーロの予算を持つアジア局の財団活動を統括する。

Stefan Friedrich took up the position as Director of the Asia Department in the Konrad-Adenauer-Stiftung (KAS), Berlin, in 2005. KAS is a political foundation closely related to the Christian-democratic movement in Germany. Mr. Friedrich is responsible for the foundation's activities in the Asian region, which includes 18 offices and a yearly budget of more than 10 million Euro. Before joining the head-quarters of the Konrad-Adenauer-Stiftung, Mr. Friedrich was founder and first director of the KAS office in Shanghai (2001-2005). Prior to this he was a scientific member of the Institute of Asian Affairs (Hamburg; 1997-2001) and co-editor of the encyclopaedia of Modern China (“Das Große China-Lexikon”, about 1000 pp, 2003; now available also in English: “Brill’s encyclopedia of China”, 2009). He published widely on China’s foreign relations.

Stefan Friedrich holds an MA (1994) and PhD (1999) of the University of Heidelberg. His studies in Modern Sinology and Political Sciences included extended research periods at several universities – in Shanghai (Fudan), Paris (EHESS) and London (SOAS).

緒方 貞子 国際協力機構理事長

**Dr. Sadako OGATA** President, JICA



1927年東京生まれ。1951年聖心女子大学英文科卒業。1953年ジョージタウン大学大学院卒業(国際関係論修士)。1963年カリフォルニア大学(バークレー校)政治学博士。1965～1979年国際基督教大学非常勤講師・準教授。1978～1979年UNICEF執行理事会議長。1976年国際連合日本政府代表部公使。1978年特命全権公使国際連合日本政府代表部在勤。1979年外務省参与。1980～1988年上智大学国際関係研究所教授。1982～1985年国連人権委員会政府代表。1983～1987年国際人道問題独立委員会委員。1987～1988年上智大学国際関係研究所長。1989～1991年上智大学外国語学部長。1991～2000年第8代国連難民高等弁務官(UHCR)。2001年人間の安全保障委員会共同議長。2001～アフガニスタン支援日本政府特別代表。2003年～立行政法人国際協力機構理事長。2003年国連有識者ハイレベル委員会委員。

Posts: President, JICA (October 2003- ) /Chair, The Advisory Board on Human Security (September 2003 - ) /Member, UN’s Advisory Committee on Genocide Prevention (2006-2007) /Special Representative of Prime Minister of Japan on Afghanistan Assistance (2001-2004) /Member, UN’s High Level Panel on Threat, Challenges and Change (2003-2004) /Co-chair, Commission of Human Security (2001-2003) /UN High Commissioner for Refugees (1991-2000) /Dean, Faculty of Foreign Studies, Sofia University (1989-1991) /Independent Expert of UN Commission on Human Rights on Human Rights Situation in Myanmar (1990) /Representative, UN Commission on Human Rights (1982-1985) /Chairman, Executive Board of UNICEF (1978-1979)

Academic background: Ph.D., Political Science, the University of California at Berkeley (1963) /M.A., International Relations, Georgetown University, Washington D.C. (1953) /B.A., University of the Sacred Heart, Tokyo (1951)

Born on 16 September 1927 in Tokyo.

西村 智奈美 日本国外務政務官

**Ms. Chinami NISHIMURA** Parliamentary Vice-Minister for Foreign Affairs of Japan



民主党衆議院議員。新潟県第1区選出(当選3回)。1967(昭和42)年新潟県燕市生まれ。新潟大学法学部入学。タイ王国バンコク市ユニオン語学学校留学。英国ブリストル大学法学部留学。新潟大学大学院法学研究科修了。専修学校非常勤講師、新潟産業大学非常勤講師、敬和学園大学非常勤講師、新潟青陵女子短期大学非常勤講師などを勤める。

1999年新潟県議会議員に選出、2003年衆議院議員初当選。2005年2期目当選、2009年3期目当選。2009(平成21)年9月より、外務大臣政務官に就任。

Democratic Party of Japan (DPJ), Member of the House of Representatives (1st district, Niigata Prefecture) (elected three times). In January 1967, Born in Niigata Prefecture/April 1985, Entered Faculty of Law, Niigata University/Absent from the university and studied at Union Language School in Bangkok, Thailand/April 1990, Entered Graduate School of Law, Niigata University/Absent from the graduate school and studied at School of Law, University of Bristol, UK/March 1993, Received master’s degree from Graduate School of Law, Niigata University/April 1993, Adjunct professor at a specialized training college/April 1996, Adjunct professor, Niigata Sangyo University/April 1997 Adjunct professor, Keiwa College/April 1998 Adjunct professor, Niigata Seiryō Women’s Junior College/April 1999 Elected to the Niigata Prefectural Assembly/November 2003 Elected to the House of Representatives (first time) /September 2005 Elected to the House of Representatives (second time) /August 2009 Elected to the House of Representatives (third time)/September 2009 Assumed the post of Parliamentary Vice-Minister for Foreign Affairs.

**Ms. Birgit SCHNIEBER-JASTRAM** Member of the European Parliament, Member of the Committee on  
Development Cooperation



1981年よりドイツキリスト教民主同盟(CDU)に所属。1986～1994年、ハンブルグ議会議員。1994-2001年ドイツ連邦議会議員。2000-2001年キリスト教民主同盟会派の議会幹部、長老委員会を務める。2001年10月～2008年5月、ハンブルグ社会・家族担当大臣。上院議員在任中、2004年3月～2008年5月ハンブルグ副市長に就任。2009年、ヨーロッパ議会に選出される。

Since 1981, Schnieber-Jastram is member of the German Christian Democratic Union (CDU). From 1986 to 1994 she was member of the Hamburg Parliament, from 1994 to 2001 member of the Bundestag, including serving as a parliamentary executive of the CDU faction (2000-2001) and in this position member of the council of elders. From October 2001 to May 2008, she was State Minister for Social and Family Affairs of Hamburg. In her position as Senator, she was Second Mayor of Hamburg, from March 2004 until May 2008.

In 2009 Schnieber-Jastram was elected to the European Parliament.

**アリー・アフマド・ジャラリ** 近東・南アジア戦略研究所名誉教授、元アフガニスタン内務大臣

**Minister Ali Ahmad JALALI** Distinguished Professor, Near East South Asia Center for Strategic Studies  
/Former Interior Minister of Afghanistan



2003年1月アフガニスタン内務大臣に就任。アフガン国家警察(ANP)、地方政府行政、出入国管理制度、国民身分証登録制度などを指揮する。ANPと国境警察を創設する一方、アフガニスタン国軍を指揮して反テロ活動や治安の安定化、国境地帯の不法行為の取り締まり強化などに取り組む。アフガニスタン安定化プログラム(ASP)の下、地方政府の治安・統治能力の向上にも取り組み、2005年9月内務大臣を辞した。また、著書や寄稿も多数あり、国際的なメディアを通じてアフガニスタンの安全保障に関する分析を積極的に行っている。

As the Interior Minister of Afghanistan (Jan, 2003-Sep, 2005), he was in charge of the Afghan National Police, the sub-national government administration, the immigration service and the national identification and registration services. He led the creation, training and deployment of a strong ANP and a Border Police and the operation of Afghanistan security forces in counter-narcotic activities, fighting terrorism, disarming illegal armed groups, battling organized crime and illegal movement across the border. His leadership won the freedom of kidnapped foreign nationals in Afghanistan without giving in to the demands of hostage takers. He implemented the Afghanistan Stabilization Program of reforming provincial and district administration aimed at extending the authority of the government to all provinces of the country. He is the author of many books and articles on political, military and security issues in not only Afghanistan, Iran and Central Asia, but U.S and European countries, including topics related to Islamic movements in the region.

**脇阪 紀行** 朝日新聞 論説委員

**Mr. Noriyuki WAKISAKA** Editorial Writer, The Asahi Shimbun



大阪出身。1979年入社。松山、和歌山両支局、大阪経済部を経て、外報部に移り、アジア総局(バンコク)、ブリュッセル支局などで勤務。バンコク駐在時にカンボジア紛争やベトナムの市場開放を取材。ブリュッセル駐在時には、欧州連合の中東欧諸国への拡大を見聞した。著書に「大欧州の時代—ブリュッセルからの報告」。訳書に「平和構築の仕事—フィンランド前大統領アハティサーリとアチェ和平交渉」。

He was born in Osaka. He joined The Asahi Shinbun in 1978. After building his career at bureaus in Matsuyama, Wakayama, and the Osaka economic division of Asahi Shinbun, he moved to the foreign department, and worked overseas such as the Asia head office (in Bangkok), and the Brussels bureau. During working in Brussels, he covered the conflicts in Cambodia and also observed the enlargement of EU membership toward Central and Eastern Europe.

He published a book; “Great EU Age- a report from Brussels” (in Japanese), and translated “Working on Peace Building - Martti Ahtisaari, Former Finland president, and Ache peace process.”

マティアス・ナス ディー・ツァイト紙副編集長、ベルリン日独センター副総裁

**Mr. Matthias NASS** Deputy Editor-in-Chief, DIE ZEIT /Vice-President of JDZB



1998年よりディー・ツァイト紙副編集長を務める。1978～1982年ドイツ・アジア学会事務局、季刊誌「Asian」編集者。1982～1983年ハンブルグ・ジャーナリズム学校に勤務。1983～1990年ディー・ツァイト紙の外交政策スタッフ。1990～1994年同紙政治部副編集長。1994～1997年同紙編集主幹。ベルリン日独センター副総裁。

学歴

ゴティンゲン大学、ハワイ大学、ハンブルグ大学にて歴史学、中国研究、政治学を専攻。

Matthias Nass has been Deputy Editor-in-Chief of DIE ZEIT since 1998. He was Secretary of the German Association for Asian Studies and Editor of the quarterly *Asien* (1978-82); he attended the Hamburg School of Journalism (1982-83); was a member of the foreign policy staff of DIE ZEIT (1983-90), Deputy Political Editor (1990-94) and Managing Editor (1994-97).

He studied History, Chinese Studies and Political Science at the Universities of Göttingen, Hawaii and Hamburg.

He is Vice-President of the Japanese-German Center, Berlin.

ヘンリッヒ・クレフト ドイツ連邦議会キリスト教民主・社会同盟グループ外交政策シニアアドバイザー

**Dr. Heinrich KREFT** Senior Foreign Policy Advisor, CDU/CSU Group of the German Federal Diet



専門分野は国際政治・経済関係;国際安全保障;ヨーロッパ、アメリカ、アジアの政治・経済関連。

1985年外交官就任、1991～1994年東京、2001～2004年ワシントンに着任。外交政策立案スタッフとしてアメリカ、アジア、欧州に関わる(1996～2001年)。2001年7～12月ヘンリー・L・スティムソン・センター、2002年1～3月ヘリテージ財団、2002年5～6月ウッドロウ・ウィルソン・センター(ワシントンD.C.)の客員研究員を務める。2006年8月より、ベルリンにて上級戦略アナリストとして活躍。

Expertise: Major-power political and economic relationships; International Security; European, American and Asian political and economic affairs.

Career Diplomat since 1985 stationed among others in Tokyo (1991-1994) and Washington (2001-2004), Foreign Policy Planning Staff (in charge of the Americas, Asia and Economic Issues), (1996-2001) July-December 2001 Visiting Fellow at The Henry L Stimson Center, at the Heritage Foundation (January-March 2002) and the Woodrow Wilson Center (May-June 2002) in Washington, D.C.. August 2006 Senior Strategic Analyst and Deputy Head of the Policy Planning Staff in Berlin.

サラ・クリフ 世界銀行 世界開発報告書2011(紛争・脆弱国)特別代表

**Ms. Sarah F. CLIFFE** Special Representative/Director, World Development Report 2011 Conflict and Fragility, the World Bank



欧州、南米、東アジアにおける公的機関、民間、NGOセクターで活動。世銀の前は公共部門改革の分野で英国コンサルタント会社、UNDP、南アフリカ政府、南アフリカ労働組合議会(COSATU)で勤務。ケンブリッジ大学、コロンビア大学の歴史学、経済開発の学位を有する。

世銀では、市民社会改革、コミュニティ主導の開発(CDD)、紛争後の復興などの分野に関わる。1999年～2002年までは東ティモールにおける世銀プログラムのチーフ・ミッションを務め、2002年～2007年には世銀の脆弱・紛争影響下の国家グループを率いる。東アジア・太平洋地域の副総裁とともに戦略的・分野横断的なイシューにも取り組んだ。

She has worked for the last twenty years in countries emerging from conflict and political transition. Prior to joining the Bank, she worked for the United Nations Development Program in Rwanda, the Government of South Africa, and the Congress of South African Trade Unions, as well as for a major management consultancy company in the United Kingdom on public sector reform issues. She holds degrees in History and Economic Development from Cambridge and Columbia Universities. Since joining the Bank, her work has covered post-conflict reconstruction, community driven development and civil service reform. She was chief of mission for the Bank's programme in Timor-Leste from 1999 to 2002; led the Bank's Fragile and Conflict-Affected Countries Group from 2002-2007 and was Director of Operations for East Asia and the Pacific from 2007 - 2009. She is now Special Representative and Director for the World Development Report on Conflict, Security and Development.



恒川 恵市 国際協力機構理事

**Prof. Keiichi TSUNEKAWA** Vice-President and the Director of the Research Institute, JICA



1971 年東京大学教養学部教養学科卒業  
1973 年東京大学大学院社会学研究科国際関係論専攻修了  
1979 年コーネル大学政治学部大学院博士課程修了(1989 年 Ph.D.取得)  
1980 年東京大学教養学部助手  
1981 年 同上 助教授  
1991 年 同上 教授  
2008 年 4 月 政策大学院大学教授  
2008 年 9 月 JICA 顧問  
2008 年 10 月 JICA 理事、JICA 研究所所長

Dr. Keiichi Tsunekawa graduated from the Department of Arts and Sciences of the University of Tokyo in 1971. He holds an M.A. in International Relations from the University of Tokyo and a Ph.D. in Political Science from Cornell University. He taught at the Department of Arts and Sciences of the University of Tokyo between 1981 and 2008 and at the National Graduate Institute for Policy Studies (GRIPS) in 2008. He became a Director of the JICA Research Institute, which was newly established to strengthen the research capabilities of the former Japan International Cooperation Agency (JICA) and the Japan Bank for International Cooperation (JBIC). His fields of academic research cover political economy, regional integration and democratization mainly focusing on East Asia and Latin America.  
Major works: Nature of democratic commitment in Asia, Political Science in Asia 2(2), 2006; Remapping East Asia: construction of a region, Cornell University Press, 2005; The state and private enterprises, University of Tokyo Press, 1996 (in Japanese).

ヴォルフガング・シュミット ドイツ技術協力公社理事

**Mr. Wolfgang SCHMITT** Managing Director, GTZ



1959 年モンハイム(ドイツ)生まれ。ノルトライン＝ヴェストファーレン・カトリック専門大学ケルン校、ドゥッセルドルフのハインリッヒ・ハイネ大学卒。1980 年代中頃から 90 年連合・緑の党で指導的な役割を果たす。GTZ の以前は 1994 年～1998 年までドイツ連邦議会議員。経済協力・開発に関する委員会、90 年連合・緑の党グループの国際政治部会に所属。日独対話フォーラム、ハインリッヒ・ベル財団国際政治助言委員会のメンバー。GTZ では情報技術部、会計検査部、アジア太平洋・南米カリブ部、アフリカ部、通商部、国際移民開発センター(CIM)を統括する。

He was born in 1959 in Germany, studied social work at the Catholic Univ. of Applied Sciences of North-Rhine/Westphalia, Cologne Dep., followed by studies of history, philosophy and political sciences at the Heinrich Heine Univ. in Düsseldorf. As from mid-1980s he assumed numerous leading positions within the Alliance 90/the Greens Party. Prior to joining the GTZ, a member of the Federal German Parliament(1994-1998), and a member of the Committee on Economic Cooperation Development, the Working Group for International Politics of the Alliance 90/the Greens Parliamentary Group. He was Parliamentary Group Spokesman for issues concerning international financial, trade and economic policy. He is a member of the German-Japanese Dialogue Forum and the Advisory Council for International Politics of the Heinrich Böll Foundation, responsible for Information Technology Unit, Auditing Unit, Country Department Asia/Pacific, Latin America/Caribbean, Country Department Africa, Commercial Affairs Department, Centrum für international Migration und Entwicklung.

チャン・プラシット カンボジア商業大臣

**H.E. Mr. Prasadh CHAM** Senior Minister and Minister of Commerce, The Kingdom of Cambodia



1951 年プノンペン生まれ。経済学博士。カンボジア人民党中央委員会委員。1994 年商務大臣(第一期)に就任。1998 年国会議員に選出。同年 11 月第二期目の商務大臣に就任。2004 年 7 月第三期目の商務大臣に就任。WTO 交渉におけるカンボジア政府代表、ASEAN カンボジア経済大臣、ASEM カンボジア経済大臣、イラワジ・チャオプラヤ・メコン経済協力戦略(ACMECS)カンボジア理事会副議長、大メコン地域(GMS)プログラム担当大臣、カンボジア・ラオス・ベトナム(CLV)三角開発プログラム担当大臣、カンボジア・ラオス・タイ(CLT)三角開発プログラム担当大臣、カンボジア・タイ合同貿易委員会議長、貿易関連技術支援と貧困削減に向けた貿易戦略主流化の統合枠組みに関する閣僚理事会議長、海外援助の受け入れと配分に関する委員会議長、カンボジア開発理事会(CDC)副議長(海外直接投資担当)などを務める。

He was born in 1951 in Phnom Penh. He holds the doctor of Art in Economics. His political party's affiliation is a Member of the Central Committee of the Cambodian People's Party. In 1994, Minister of Commerce [1st term]/ July 1998, Elected as Member of Parliament for Siemreap Constituency /November 1998, Minister of Commerce [2nd] /July 2003, Re-elected as Member of Parliament for Siemreap Constituency /July 2004, Senior Minister and Minister of Commerce [3rd] / Vice-Chairman of the Cambodian Steering Committee for Ayeyawadee-Chao Praya-Mekong Economic Cooperation Strategy Programs, Minister in charge of Greater Mekong Sub-region programs, Minister in charge of Cambodia-Laos-Vietnam. Development Triangle Programs, Minister in charge of Cambodia-Laos-Thailand Development Triangle Programs, Chairman of the Cambodia-Thai Joint Trade Committee, Chairman of the Inter-ministerial Steering Committee on the Integrated Framework for Trade-related Technical Assistance and Mainstreaming Trade Strategy for Poverty Alleviation, Chairman of the Committee for the Reception and Distribution of Foreign Assistance, Vice-Chairman of the Council for the Development of Cambodia in charge of Foreign Direct Investments.



ユスフ・ワナンディ インドネシア戦略国際問題研究所財団副理事長

**Mr. Jusuf WANANDI** Vice Chair of the Board of Trustees of the Centre for Strategic and International Studies Foundation, Indonesia



アジア太平洋地域における政治・安全保障専門、インドネシア外交。インドネシア大学法学学士。インドネシア戦略国際問題研究所財団副理事長兼シニア委員。太平洋経済協力理事会インドネシア国家委員会議長、アジア太平洋安全保障協力理事会インドネシア議長。CSCAP 運営委員会共同議長。ジャカルタ・ポスト会長。Prasetiya Mulya マネジメント大学院取締役会長、ポンティアナク大学財団会長。弁護士、インドネシア大学法学准教授、インドネシア最高助言理事会事務局、国家教育理事会事務局局長等歴任。アジア学会国際助言理事会、イースト・ウェスト・センター、CSIS パシフィック・フォーラム執行役員会、IISS 理事会、バブソン大学国際助言委員会委員。国内外でアジア太平洋地域の政治・安全保障問題について数多く寄稿、著書多数。

He is chairman of the Indonesian National Committee for Pacific Economic Cooperation Council and co-chair of CSCAP Indonesia and concurrently member of the Standing Committee of PECC, member of the Steering Committee of Council for Security Cooperation in the Asia Pacific and president director of the publishing company of The Jakarta Post Daily as well as chairman of the Board of the Prasetiya Mulya Graduate School of Management and a chairman of the Foundation of Panca Bhakti Univ. in Pontianak, West Kalimantan. A lawyer by training, He was assistant professor of law at the University of Indonesia, and has served in various national and international organizations. He was appointed as secretary of the Indonesian Supreme Advisory Council; secretary general of the National Education Council; and as four-term representative in the People's Consultative Assembly. He was active in the Golkar Party (1979-1988) as a member of the Central Board in various capacities.

加藤 宏 国際協力機構研究所副所長

**Mr. Hiroshi KATO** Deputy Director, JICA Research Institute



1954年東京生まれ。東京大学文学部卒業。ハーバード大学ケネディ行政学院終了(公共行政修士)。1978年 JICA(国際協力事業団)入団。その後、外務省勤務、JICA 鉱工業開発調査部、総務部、企画部、アジア1部、国内事業部などを経て、2007年4月から国際協力総合研修所長。2008年10月のJICA研究所設立に伴い、同副所長。神戸大学大学院国際協力研究科客員教授。国際開発学会理事。

Hiroshi KATO is Deputy Director, JICA Research Institute. He was graduated from the University of Tokyo in 1978 (B. L.). Earned a master's degree in Public Administration from the John F. Kennedy School of Government, Harvard University, in 1988. Visiting Lecturer and Professor at Kobe University (Graduate School of International Studies). Serving as one of the Directors of the Japan Society for International Development (since 2002). Joining JICA in 1978, has since then served in various positions in JICA including planning and regional departments, as well as at the Ministry of Foreign Affairs of Japan (in Tokyo and in the Ivory Coast).

ウエ・オールズ ドイツ復興金融公庫開発銀行アジア担当上級副総裁

**Mr. Uwe OHLS** Senior Vice President Asia, KfW Development Bank



機械工学科を卒業後、フランクフルト大学で経営学を専攻。製造会社で生産工学の経験を積み、1977年ドイツ復興金融公庫開発銀行(KfW)に勤務。アジア部タスクマネージャーとして勤務後、セクター政策部の部長に就任。1992年エネルギー部部長に昇格。1998年南・中央アジア部の第一副総裁に就任。2007年アジア担当上級副総裁に就任。KfW 開発銀行に在職中、政策開発、インフラ融資、環境、アジアにおけるマイクロファイナンスを含む民間・金融セクター開発を中心に従事。現在、KfW 開発銀行において、気候変動とインフラ部門を統括する。

After graduating in mechanical engineering he studied business administration at the University of Frankfurt. Before joining KfW in 1977 he gained experience in industrial engineering with manufacturing companies. After working as a task manager in KfW's Asia Department he became Division Chief in the Sector Policy Department. In 1992 he was promoted to Chief of the Energy Division. In 1998 he was appointed as First Vice President for South and Central Asia including the responsibility for the Center of Competence in the field of energy. In 2007 he took over the position of the Senior Vice President for Asia. During his professional career in KfW Development Bank his special focus was on policy development, infrastructure financing, environmental aspects and promotion of private and financial sector development including microfinance in Asia. In his present position he coordinates matters of climate change and infrastructure within KfW Development Bank.

香川 剛廣 外務省中東アフリカ局参事官

Mr. Takehiro KAGAWA Deputy Director-General, Middle Eastern and African Affairs Bureau



昭和 32 年東京生まれ。同55年外務公務員採用上級試験合格、同56年早稲田大学政経学部政治学科卒業、外務省入省、同62年経済協力局(技術協力課) 課長補佐、平成2年経済局国際経済第一課経済安全保障室首席事務官、同4年国際連合局国連政策課首席事務官、同5年総合外交政策局国連政策課首席事務官、同6年経済協力開発機構日本政府代表部一等書記官、8年経済局(総務参事官室) 首席事務官、同9年総合外交政策局企画課企画官(外務事務次官秘書官)、同10年中近東アフリカ局中近東第一課長、同12年在アメリカ合衆国日本国大使館参事官、同14年在サウジアラビア日本国大使館公使、同17年在ジュネーブ国際機関日本政府代表部公使、19年在中華人民共和国日本国大使館公使、同20年8月より中東アフリカ局参事官。

1957 Born in Tokyo/1981 Graduated from Faculty of Politics, University of Waseda /1981 Joined Ministry of Foreign Affairs /1982 American University of Cairo, Egypt /1984 St Anthony's College, University of Oxford /1985 Secretary, Embassy of Japan in UAE /1987 Ministry of Foreign Affairs, Technical Cooperation Division, Economic Cooperation Affairs Bureau /1990 Deputy Director, Economic Security Division, Economic Affairs Bureau /1992 Deputy Director, UN Policy Division /1994 Secretary, Japanese Delegation to the OECD /1996 Deputy Director in charge of G8 Economic Summit, Economic Affairs Bureau /1998 Executive Secretary to the Vice-Minister of the Ministry of Foreign Affairs /1999 Director, First Middle East Division, Middle East and African Affairs Bureau /2001 Economic Counselor, Embassy of Japan in the USA /2003 Minister, Embassy of Japan in Saudi Arabia /2005 Minister, Deputy Permanent Representative to the WTO, Permanent Mission of Japan in Geneva /2007 Minister, Embassy of Japan in People's Republic of China /2008 Deputy Director-General, Middle Eastern and African Affairs Bureau.

中原 正孝 国際協力機構南アジア部長

Mr. Masataka NAKAHARA Director General, South Asia Department, JICA



1978年東京農工大学卒業後、国際協力事業団入団。米コーネル大学大学院修士課程修了。ネパール事務所員、農業技術協力課長、パキスタン事務所長、青年海外協力隊事務局管理課長、アフガニスタン事務所長などを経て、2008年より南アジア部長。

Mr. Masataka NAKAHARA graduated from Tokyo University of Agriculture and Technology in 1978 (B.A. in Agriculture.) and earned a master's degree in International Agriculture and Rural Development, Cornell University, in 1988. He joined JICA in 1978, and has since then served in various positions including Resident Representative of JICA Pakistan Office from and Resident Representative of JICA Afghanistan Office. He has become the Director General, South Asia Department, JICA since 2008.

アレスター・マッケクニー 世界銀行 脆弱・紛争影響国局長

Mr. Alastair J. MCKECHNIE Director, Fragile and Conflict-Affected Countries Group, the World Bank



ニュージーランド国籍。1982 年中東・北アフリカ地域におけるエコノミストとして世銀に入行。前職は南アジア地域のアフガニスタン、ブータン、モルジブ局長。アフガニスタン、南アジア地域のオペレーション・ダイレクターとして、同地域における世銀業務を統括。南アジア地域のエネルギー局長を務め、バングラデシュ、インド、ネパール、パキスタン、スリランカでの世銀のエネルギー関連業務を統括。中東・北アフリカ地域におけるマシュレク・エジプト・イラン局のエネルギー・インフラ・民間セクター開発ディビジョン・チーフ。2004 年アジア津波災害の発生後、世銀の南アジア地域における支援を統括。現在、脆弱・紛争影響国局長に選任され、脆弱で紛争影響下にある国家の戦略テーマ(①戦略的な知識・調査という課題の発展と促進、②脆弱国における関係機関とのパートナーシップ構築、③脆弱国家に影響を与える制度改革)につき、世銀の活動を支援。

New Zealand national. His former position was Country Director for Afghanistan, Bhutan, and Maldives in the South Asia Region, Operations Director for the South Asia Region. In addition to his work on Afghanistan, he assisted the Vice President for the region and oversaw the Bank's operations in South Asia; Energy Sector Director South Asia region, responsible for the Bank's energy operations in Bangladesh, India, Nepal, Pakistan and Sri Lanka; Division Chief for Energy, Infrastructure, Private-Sector Development in the Mashreq, Egypt and Iran Department in the Middle East/North Africa region. After the Asian tsunami disaster in 2004, he coordinated the World Bank's response to the South Asia region. He is a Director, Fragile and Conflict-Affected Countries Group, where he provides leadership and support for the Bank's work on the fragile and conflict-affected areas, including developing and promoting an agenda for strategic knowledge and research; establishing key partnerships across institutions involved in fragile states; leading institutional reforms affecting fragile states, including the implementation of the new rapid response policy, procedures, reform to organizational and human resource systems.

マーティン・キッピング ドイツ経済協力開発省アフガニスタン政治専門家

**Mr. Martin KIPPING** Political Expert on Afghanistan, Division on Afghanistan, Pakistan, Bangladesh, Ministry of Economic Cooperation and Development, BMZ



1999年4月～2004年8月パリ政治学院、ベルリン・フリー大学の両校で大学院修士課程修了。2004年9月～2005年5月ドイツ開発研究所:大学院開発協力トレーニングプログラムに在籍。現在、ベルリン・フリー大学(政治学)博士課程(PhD.)在学中。

2005年6月～2007年3月ドイツ経済協力開発省(BMZ)(ボン):インフラ部水セクター担当事務官。2007年3月～2008年12月在カブール・ドイツ大使館:開発協力、人道支援、経済部門の課長(一等書記官)。2009年1月～ドイツ経済協力開発省(BMZ)(ベルリン)にてアフガニスタン・パキスタン・バングラデシュ地域部アフガニスタン担当事務官。

Since January 2009 German Federal Ministry for Economic Cooperation and Development (BMZ), Berlin: Afghanistan desk officer at BMZ's regional department for Afghanistan, Pakistan and Bangladesh.

March 2007 – Dec 2008 German Embassy Kabul: Head of section (1st Secretary) for development cooperation, humanitarian aid and economic affairs.

June 2005 – Mar 2007 German Federal Ministry for Economic Cooperation and Development (BMZ), Bonn: Water sector desk officer at BMZ's infrastructure department.

Education:

currently: PhD student at Berlin Free University (politics)

09/2004-05/2005: German Development Institute: post-graduate training program in development cooperation

04/1999-08/2004: Institut d'Etudes Politiques de Paris / Berlin Free University, dual master's degree

コリン・デュルクOP コンラート・アデナウアー財団日本・韓国事務所代表

**Dr. Colin DÜRKOP** KAS country representative to Japan and Korea, Seoul



コンラート・アデナウアー財団日本・韓国事務所代表。1979年イタリア、ローマのFAO(国連食糧農業機関)でエコノミストとしてキャリアをスタート。トルコ・アンカラで世界銀行のプロジェクトに関わり、様々なドイツの二国間援助プロジェクトに参加。

1988年KASに着任前、タイ・バンコクで農業省向けの世界銀行プロジェクトを統括。その後、KASのタイ事務所代表として、東南アジアを含む様々な地域のセクション・チーフを務める。

その後、ソウルでのポジションに着任前、シンガポールにおいてKASアジア政治対話プログラムのディレクターに就任、ドイツ・ボンにある財団の本部でアジア部門ディレクターを務める。

Colin Dürkop is the Regional Representative for the Konrad-Adenauer-Stiftung (KAS) in Korea and Japan. Before his posting in Seoul, he was Director of the KAS Political Dialogue Programme Asia in Singapore and served at the Foundation's headquarters in Bonn-Sankt Augustin/Germany as the Director of the Asia Department. Earlier, Dr. Dürkop did stints as KAS Country Representative in Thailand and was Section Chief for various regions, including Southeast Asia.

Prior to joining KAS in 1988, Dr. Dürkop headed up a World Bank project in Bangkok, Thailand for the Ministry of Agriculture and Cooperatives. He went on to consult World Bank projects in Ankara, Turkey and took part in various German Bilateral Aid Consultancy Projects. He started his career as an Economist at the Food and Agriculture Organisation of the United Nations (FAO) in Rome/Italy in 1979.

END